

シャローム



秋

2020年

私は神に信頼する

(ヘブライ人への手紙 2章13節)



画 藤本四郎



左から フック、アンディ、ビジュ、ボスコ、ソリス、後藤各司祭（聖母被昇天のミサ後）

司祭団紹介

今年度、吉祥寺教会にいらっしやる6名の司祭に聞いてみました。

- ①生年月日 ②出身地 ③叙階の日・場所
- ④霊名 ⑤趣味・好きなこと ⑥吉祥寺教会の皆さんへ一言

ビジュ・キシヤケール

（主任司祭）

- ①72年1月10日 ②インド・ケーララ州
- ③02年3月16日・名古屋 ④聖トマ使徒
- ⑤名古屋での神学生時代、相撲をやっていました。後からトライアスロンに転向し、新型コロナウイルスが流行するまでは2キロ泳ぐのが日課でした。一番好きなことは人と接すること。教会のためになることを考えるのも好きです。4月に着任してからは教会周辺の環境整備をしています。

⑥教会の通常のミサが始まっていないため

8月の今も、信徒全員と会うことがまだできていないことをとても残念に思います。それでも、平日も多くの方々が教会に来てお祈りしている姿はとても感動的です。時間がある時でいいので、教会にお祈りに来てください。そして、遠慮なく声をかけてください。信徒の皆さま一人ひとりのことを大切に、一人でも多くの方と接していきたいと思っています。また、若い方々にも、教会に来て、司祭たちと関わっていただきたいと願っています。これから、よろしくお願いたします。

ボスコ・マニマラ

（助任司祭）

- （マリア会上下連雀、本町、御殿山、ゆり地区担当）
- ①53年11月10日 ②インド・ケーララ州
- ③82年5月1日・インド ④ボスコ
- ⑤自分の仕事について必要なことを勉強すること

⑥来日してから十六年間、南山大学経済学部で英語を教えていました。

ですから、日本の教会での司牧の経験がありません。皆様にいろいろ教えていただきながら一緒にがんばりたいと思います。

トウ・ダン・フック

(助任司祭)

(日曜学校、青年会、マリア会井の頭、国分寺、松庵地区担当)

- ① 77年2月2日 ② ベトナム・ドンナイ県 (ホーチミンから60km離れたところ)
- ③ 13年3月16日・名古屋 南山教会
- ④ フランシスコ・ザビエル ⑤ ドラマを見ること、野菜を育てること

⑥ 私たち人間には様々な弱さがあります。それらは論理的ではなく、私たち自身がその弱さを実感しているものだと思いません。しかし、信仰においては、使徒パウロが言っているように「わたしは、弱いときこそ強い」(IIコリ10章12節)です。神こそが私たちのよりどころになるように信仰生活を送りましょう。

アンディ・ファン

(助任司祭)

(日曜学校、青年会、マリア会久我山、さくら、善福寺地区担当)

- ① 89年1月22日 ② インドネシア・西ティモール ③ 17年10月2日・ティモール (アタンブア) ④ アドリアヌス
- ⑤ サッカー観戦・音楽を聴くこと
- ⑥ 大変残念なことにコロナウイルスのために大勢で集まることはできませんが、信徒の皆さん、吉祥寺教会をカラにしないでください。いつでも来てお祈りして下さい。恐れないで下さい。私たちの神様がいてくれるからです。

後藤文雄

(共住司祭)

- ① 31年9月13日 ② 新潟県・長岡市
- ③ 60年10月30日・名古屋 ④ ヨハネ・ボスコ ⑤ テニス・音楽鑑賞・絵画鑑賞
- ⑥ コロナが与えてくれた反省のチャンスを大切にいたしましょう。

ロベルト・ソリス

(共住司祭)

- ① 83年9月18日 ② フィリピン・ボホール島 ③ 15年12月5日・フィリピン
- ④ ロベルト ⑤ 読書 (マンガもいろいろ読みます)

⑥ 吉祥寺教会にお世話になって一年半が経ちました。大学院に通う生活なので、なかなか思うように皆さんと関わる事ができません。申し訳なく思っています。温かく見守っていただければ嬉しいです。今、コロナウイルスのために大変なことになっていますが、心を合わせて皆でお祈りいたしましょう。

※ 各司祭の担当は

9月現在



2020 年度教会委員紹介

年間テーマ 「みんなで助け合おう」

教会委員長 北川 洋

今年度の教会委員会は、4月に着任されたビジュ主任司祭のもと発足しました。教会委員は任期が2年となっており、前年度からの継続5名、新任4名、協力委員2名の計11名です。

昨年度末より教会も新型コロナウイルスの影響を大きく受け、2月26日の枝の主日を最後に公開のミサ、各種行事が中止となり、教会内の各会活動も行えなくなりました。6月によりやく今年度第一回教会委員会を開催することができました。7月からは参加人数を制限し、新型コロナウイルス感染予防対策を十分にとった上で公開のミサを再開しています。

今年度の吉祥寺教会の年間テーマは「みんなで助け合おう」です。

このような状況だからこそ、いつにもましてお互いの役割を理解して考えを分かち合

い、吉祥寺教会共同体として助け合いたいと思えます。

教会委員一同、信徒の皆様、司祭団のご指導、ご協力をいただきながら務めてまいります。

各会の紹介

ヨゼフ会

生涯、聖家族を支え続けた聖ヨゼフに倣い、自己啓発と親睦を目的とする男性信徒の会です。共通のテーマでの勉強会や分かち合いをもち、会員相互の親交を深めています。

マリア会

教会の母なる聖マリアに倣い、指導司祭のもとに会員相互の親睦を深め、信仰の向上を図り、教会の奉仕を行うことを目的とする女性の会です。会員は10の地区会のいずれかに所属、月一回の地区集会は継続信仰の支えとなっています。

日曜学校

小・中学生を生徒、高・大学生と社会人をリーダーとして日曜日に活動しています。通常は毎日曜日9時のミサにあずかり、子供たちが喜んで教会に通えるよう

にと願っています。

青年会・若葉

18歳以上の学生や社会人の青年のみならずで作る楽しい会です。毎月第2土曜日19時に集まり、奇数月は勉強会を、偶数月は楽しい交流会を行なっています。新規参加者、まだ洗礼を受けていない方の参加も大歓迎、海外から来た青年達の参加も増えてきて、盛り上がっています！

セントメリースカウト

ボーイスカウト武蔵野第一団
ガールスカウト東京都第18団
年齢に合わせた活動を通してたくさん
のことを経験し、学び、技術を身に付けて
います。教会行事にも参加し、交流して
います。

聖歌隊

ミサの時に聖歌を男女混声四部で歌えるよう練習しています。

サコム（海外宣教師援助会）

海外の宣教師で宣教活動をしている神
言会司祭や吉祥寺教会出身の修道者たち
を祈りとバザー収益で援助しています。

FCCOK

(Filippine Catholic Community of
Kichijoji)

フィリピンの方々のグループです。タガ
ログ語のミサを捧げ、互いに交流を持ち、
教会の活動にも参加しています。

在世フランシスコ会

聖フランシスコの足跡をたどり、聖人に
倣うよう福音を生活の中で実践すること
を目指しています。

レジオマリエ

イエズスの御母プレジデイウム
希望の星プレジデイウム

神とマリア様への信頼と従順の精神で、
教会や地域社会への様々なニーズに目を
向けながら関わり、救いの希望とよろこ
びを伝えてゆくことを目的に、祈りと活
動を続けています。

当教会設立時より活動を続けています。

一粒会

司祭・修道者の召命を祈りと献金で援助する会です。信徒全員が会員になっています。

ルツの会

教会行事の祝賀会、歓送迎会の料理作りをしている奉仕の会です。

カナの会

カトリック信者並びにその縁故者の結婚のお世話をしています。

(年内で活動終了予定)

※ 新型コロナウイルス感染症予防のため現在通常通りの活動ができない会もあります。

スペイン語グループ活動終了によせて

西谷 和子

1978年頃二人のスペイン語学科を出た方が、スペイン語を教えたいと呼びかけ、大勢の方が幾つかのクラスに分かれスペイン語のABCから勉強を始めました。

スピノラ会のシスターと後にビタ・エト・パックスの方、また、メキシコの神学生が先生として応援に来て下さいました。その頃からスペイン語グループと呼ぶようになり、「みんなの広場」では「スペインレストラン」のコーナーを持ってスペイン菓子のポロポローネやパエリヤ、サンテリア等を提供して盛況だったことを思い出します。またスペイン観光協会からお借りしたフラメンコ衣装で舞台上立ち、華やいだひとときもありました。

四十数年の活動の中、ビタ・エト・パックスの方達もスペインへ帰国され、先生もなぐメンバも三人となり、今年のご復活祭後4月に解散を決めました。が、コロナウイルスの影響もあり、6月に教室を返却いたしました。



長い間、スペイン語グループをあたたく見守って下さり、頼りにしていただきありがとうございました。教会活動の忘れられない思い出です。ここに厚く御礼申し上げます。

転任された神父様より



長浦からこんにちは

松本 勝男

皆さんお元気ですか。

今日は8月21日。愛知県知多市の長浦教会に引越して四カ月が過ぎたことになりました。信徒数270余名の小さな教会ですが、180余名の園児数をかかえる幼稚園もあるので、吉祥寺教会在任時同様、多忙かつ充実した日々を過ごしております。

ご承知のとおり、赴任してから最初の二カ月は、新型コロナウイルスのため、教会も幼稚園も思うように活動できませんでしたが、それ以降は、万全の感染対策の下、それぞれ段階を踏んで活動を再開するようになり、信者さんや園児たち、先生方や保護者の顔と名前もだいぶ覚えてきたように思います。

長浦教会も長浦聖母幼稚園もマリア様をととても大切にしています。教会前の広場には、マチヨシエク神父様―元主任司祭・元園長―作の聖母像が、聖堂内には舟越保武先生―長崎西坂の二六聖人のレリーフでおなじみ―作の聖母像が安置されています。信者さんはもちろんのこと、園児たちや先生方も毎日熱心にマリア様へのお祈りを唱えています。

思えば、昨春亡くなった私の母も秋田県鹿角市で長年、教会と幼稚園のために働いて来ました。母もマリア様が大好きでした。今、私がここ長浦で主任司祭として園長として眺めている景色は、かつて母が鹿角で一信徒として幼稚園教諭として眺めていた景色と重なっているのではないかなという気がしてなりません。

とりわけ、幼稚園の現場で園児たちと触れ合う際には、「こんな時、母だったらどう接していたのだろうか」と考えさせられることが多々あります。高校時代に入信して司祭への道を志した頃から今日に至るまでの40年間を振り返ってみると、私自身も母が歩んだ信仰の道を追隨しているのだと思わずにはられません。

司祭に叙階されて24年間長崎の中学と高校で働いてきた私は、司祭生活25年目にして初めて小教区での仕事を拝命、そして司祭生活30年目の今年、初めて幼稚園での仕事を拝命しました。中学・高校での仕事がライフワークだと思っていた私が、ここ数年、秋田、吉祥寺、長浦と目まぐるしく異動している中にも、きっと神様のはからいがあるのだろうと思います。

依然として新型コロナウイルス終息の見通しは立たず、先が読めない状況ですが、神様にすべてを任せ、自分に与えられた務めを誠実に果たしていきたいと願っております。

皆様もどうぞお元気で。

(カトリック長浦教会主任司祭・長浦聖母幼稚園園長)

懐かしいの～

こんな時代があったんだ！
私たちの生まれる前よねコレ

おお！！ 僕たちの教会の
ファミリーヒストリー！



1936年 吉祥寺の地に、最初に神様の種が
まかれたアルベルト・ホーム



1950年代 アルベルト・ホームでの
ごミサ。なんと畳！

1954年 現在の聖堂が
建てられました。吉祥寺の
ビル群が何もなかった頃！



1970年頃 日曜学校八ヶ岳(旧)山の家での合宿



竣工当時の日曜日の
聖堂前庭の風景



50周年記念祝賀会



2000年

50周年感謝ミサ
（司式は森司教）



私たちの教会の

FAMILY HISTORY

吉祥寺教会は今年で71歳！ 教会の歴史を分かち合うために
武蔵野の地に神様の種がまかれてから今日までの年譜を
簡単にご紹介します。いろいろなことがありました。
これからも、イエス様と一緒に皆で乗り越えていきましょう！

スタート
↓

1935

★ 写真も見てねのマークです！

神言会会員ゲマインダ 神父、グドルフ神父、
西荻窪に民家を借り宣教活動を開始

1936. 10

★ 神言会の修道院、研究所としてアルベルト・ホーム開設

1942~1949

アルベルト・ホームは高円寺教会の分教会となる。
フラッテン、ナーベルフェルト、ライツ神父を中心に布教、
司牧にあたる



1949. 2. 21

高円寺教会から小教区として独立

1954. 4. 18

★ 大聖堂完成、献堂式

1957

安田貞治神父主任就任

1957. 6. 9

壮年会はヨゼフ会として新たに発足

1962. 10

第二バチカン公会議開幕（～1966）

1963

ハケ岳（旧）山の家建設

1971. 4. 29

教会会館落成式

1973. 12. 13

隣のアパートの出火により聖堂類焼

1974. 3

後藤神父主任として着任

1974. 9. 23

聖堂修復完成、献堂式

1974. 11. 24

第1回みんなの広場開催

1975

談話室「セシリア」（現・カタリナ）開店

1975. 9

婦人部「マリア会」として発足

1982. 12. 11

クリスマスイン 0422 開催

1986. 4

及川正神父主任司祭に。

1990. 9. 16

奥村功神父主任として着任

1994. 4

後藤神父主任として着任

1996

森山勝文神父主任司祭となる

1996. 7. 29

大聖堂改修工事始まる、10月20日工事終了感謝ミサ

1998. 6. 27

ハケ岳（新）山の家落成祝別式

1999. 12. 24

大聖年の開始（2001年1月5日まで）

2000. 2. 20

★ 吉祥寺教会設立 50周年を祝うミサと記念祝賀会

なバなん
んイん
とブと
試オ火
練ル事
もガで
ン屋も
根水が
浸燃し
え



あの時は再建をめぐり
大変だったよなあ...

神様にも心配
かけたわよね～



次のページに続く

★ 写真も見てねのマークです！

2000. 7. 30 セントメリースカウト 20 名、リーダー 7 名訪独
2002. 1. 12 後藤神父著『カンボジア発共に生きる世界』出版祝賀会
2003. 6. 8 信徒会館 1F 売店新装開店
2006. 4. 宮崎保司神父主任着任
2006. 6 アルディ・ハヨン神学生研修 (12 月まで)
2006. 12. 11 ノルベルト・ナハク神父帰天
2007. 7 ヤコブ・ライチャーニ神学生研修 (1 月まで)
2009. 2. 21 吉祥寺教会設立 60 周年
★2010. 7. 11 ハイチ地震チャリティーバザー (日曜学校主催)
★2011. 3. 11 東日本大震災
2011. 7. 18 ウマンス神父 司祭叙階 60 周年記念ミサ
2012. 8. 15 講演会「大震災と原発事故を経験して」
カリタスジャパン事務局長田所功氏・
カトリックボランティアセンター事務局長漆原比呂志氏
2015. 10. 12 ウマンス神父帰天
2015. 12. 18 いつくしみの特別聖年始まる (2016.11.20 まで)
2016. 8. 13 平和を願うミサ (カトリック平和旬間 2016)
岡田武夫大司教司式 (武蔵野南宣教協力体主催)
2017. 4. 松本勝男神父主任着任
★2018. 7. 30 ハケ岳山の家増改築終了祝福式 (ジェブーラ管区長司式)
2019. 3. 3 シーゲル神父講演会「知ってほしい、依存症のこと」
2019. 7. 4 シーゲル神父帰天
2019. 11 セントメリースカウト 70 周年
2020. 2. 26 東京大司教区より新型コロナウイルス感染症に伴う公開ミサ中止の通達

← 前ページから
続く



吉祥寺教会史に残る出来事

宮崎保司

東日本大震災から9年の月日が流れましたが、当時を振り返りますと吉祥寺教会史に残る出来事がありました。震災後4日目の午前10時前にフイリピン大使館から一本の電話が教会に入りました。福島在住のフイリピン女性と子ども合わせて46名が、今、バスで東京に向かっているのです。吉祥寺教会で受け入れて欲しいとのことでした。

突然の依頼でたいへん戸惑いましたが、地震による被災者のなかで福島、岩手、宮城県に在住する外国籍の人たちへの配慮が欠けていた当時の行政事情もあり、吉祥寺教会を一時避難所として提供することにしました。急を要することなので、ともかく、すぐに集まれる教会委員とマリア会の役員に召集をかけ、事情を話し受け入れ準備に入りました。夜10時頃に到着した彼らは疲労困憊でした。滞在1週間内で帰国する人がほとんどでしたが、1ヶ月以上滞在した家族もいました。マリア会、スカウト関係者、それに教会委員会の方々チームプレーが光り輝いた時でした。

その後、福島県の生産農家が風評被害により大打撃を受けている状況を知り「できることを」と始めた『福島やさしい畑』との繋がりがも今日に至っています。

(カトリック久留米教会主任司祭)

* 福島やさしい畑 ホームページ <http://fukushimoyasaibatake.web.fc2.com/>



吉祥寺教会で司牧にあたった司祭 2000~2020

2010年・日曜学校の生徒達が企画したハイチ地震のチャリティーバザー。ハイチについて勉強したことも発表しました



2011年・東日本大震災。福島から避難してきたフィリピンの方々を迎えて。主は私たちと共に



増改築の完了した八ヶ岳山の家



- 後藤文雄神父(1994~)
- 伴 八郎神父(1994~2000)
- 森山勝文神父(1996~2006)
- 西脇 良神父(1996~2003)
- ロレンゾ・ホセ・ルイス神父(2000~2002)
- スティーブ・メレ神父(2001~2004)
- ティブルティウス・ヘリ神父(2001~2006)
- 品田 豊神父(2001~2005)
- ムンシ・ヴァンジラ・ロジェ神父(2002~2008)
- ノルベルト・ナハク神父(2002~2006)
- グエン・トルン・ジュン神父(2004~2008)
- 宮崎保司神父(2006~2017)
- ディンド・サンティアゴ神父(2007~2013)
- ヨハネス・レラン(ジョン)神父(2008~2009)
- エベン・マンガ神父(2009~2010)
- クジュール・ブラフル神父(2010)
- 楊 成源神父(2011~2015)
- アルディ・ハヨン神父(2012~2017)
- アンヘル・ペラルタ・ジュン神父(2013~2014)
- アントニー・スサイラジ神父(2013~2016)
- ネルソン・アブライ・バルバロナ神父
(2014~2020)
- カオ・トゥリ・ドゥック神父(2015)
- オスヴァルド・ヴァルガス神父(2016~2018)
- レイ・ルユン神父(2016~2018)
- 松本勝男神父(2017~2020)
- トゥ・ダン・フック神父(2017~)
- 石脇秀俊神父(2019~2020)
- ロベルト・ソリス神父(2019~)
- ビジュ・アガスチン・キシヤケール神父(2020~)
- ボウス・ジェームス・ヴェルラップラムリイル神父
(2020~)
- アドリアヌス・ファニ神父(2020~)



☆ダイヤモンド祝

司祭叙階60周年

おめでとう♡ ありがとうございます♡

この道を六十年

後藤 文雄

あの時から数えたら七十数年も経っていた。失意のどん底から這い上がる事ができたのは、三つ編みの少女に導かれて教会の門をくぐった時からである。

戦後二年経った春、友人に誘われて初めて上京した。一番ショックを受けたのが、上野駅地下街にたむろしていた浮浪児とさげすまれていた戦後孤児達を目撃したことであった。汚れた襦袢をまとい、煙草の吸い殻を拾い集め、巻き直して吸っている子、ゴミ箱に捨てられた残飯を漁って口にしてしている子達に堪らず目を外してしまった。

私も彼らと同じように戦災で家族を失ってしまったが、私の場合、父が生存し

ていてくれたお陰で知り合いの軒下に身を寄せることができた。食べ物も恵んでもらった。着るものもお古を分けてもら

った。しかし、あの上野の地下道の子供たちも私と似たような被害に苦しんでいたのだろうと思うと切なくなつた。

その数ヶ月後に洗礼を受けた。神父からも助言と指導をいただいた。

戦災孤児への想いから、こんな子供達のために一生を捧げたいと思うようになった。

その時の神父の一言が脳裏に今も残っている。

「司祭になりなさい。」

間も無く神学校に入る事になった。

父や兄に相談もせず、独断の家出となり、勘当宣言を父から受けた。

家にはもう帰れないという背水の陣が幸いしたのか。何度もこの道を断念しよ

うと思っただろうか、しかし帰る家が無かつたお陰で踏み留まった。

級友四人の中でいちばん意志薄弱な神学生、と指導司祭から烙印を押された私が残って六十周年を迎えたのである。この六十年も順風満帆というわけにも行かず、悪戦苦闘の連続だったと振り返っている。

マザー・テレサの会のインド人ブラザーGに導かれて山谷で八年間お手伝いし、その延長線上でカンボジア難民男児十人、女児四人を里子に迎えて生活を共にし、学校に通わせ、成長のお手伝いが出来た。きっかけは、戦禍の悲劇からであった。そして遂にはカンボジア国内に小学校を十九校も建設することも出来た。

「ここまでやってこられたのは、神さまのお導きと関わりを持った多くの方のご支援の賜物とただただ感謝申し上げる次第である。

聖ピオ十世教皇の座右の銘

「神さまの御摂理に仕損じはない」

お祝いのごとば

渡部 三千子

後藤神父様が、昨年九十歳になられ、今年司祭としてダイヤモンド祝を迎えられ、二重のお慶びを申し上げたい。私は、極めて個人的な思い出を申し上げたい。

数年前のこと、前のミサが終わり人々が聖堂入口にたむろし次のミサのため待っていた。私も次のミサのために外にいたが、一人の紳士が寄って来られた。

「今終わったミサの司式をされた神父様はなんとおっしゃる方ですか。」

私は後藤神父様の名を告げ、この教会と長い由縁がありになると云うと、この紳士は、「この方は、良い説教をされますねえ。私は未だ信者ではないのですが、この方の説教を楽しみに教会に来ているようなものです。」と云われた。

その後、この紳士にはお会いしないが、もしかして受洗され信徒として会衆の中におられるのでは、と思ったりしている。

※渡部三千子さんは20年9月15日、急逝されました。

ごっちゃんに捧ぐ



Hic et Nunc



初ミサ(1960.11.1)
「よし! 学校をつくらう」より



金祝は銀祝の品田神父と共に(2010.10.31)

長けりやいいというもんでもないよ、
「ゴッちゃん！」

森山 勝文

後藤神父様と出会ってから、66年経ちました。私が13歳で名古屋の神学校に入った時、あなたは誓願を立てた立派な大神学生で、一つ屋根の下で生活しました。そのころ仲間はあなたのことを「模範的な修道者」と呼んでいたように思います。

あなたは1960年、司祭に叙階され、学校で働きながら途中から小教区での宣教司牧の仕事に専念されましたね。私が1970年司祭に叙階され、あなたと一緒に仕事をするようになったのは、吉祥寺教会が隣家のボヤから類焼し、聖堂の改修の時からでした。今は亡きウマンス神父様と一緒に吉祥寺教会に主任司祭として乗り込んで来られ、吉祥寺教会の今の姿を築かれました。私はその時、吉祥寺教会に居候しながら神学研究の分野の方向を目指していましたが、その方向を変更し、吉祥寺教会の助任司祭として働かせていただき、あなたは、かわるがわるやって来

る助任司祭と共に楽しい司祭団を作ってくださいました。あなたは、途中から難民の子供たちを受け入れ、名古屋に転動されてからもずっと子供たちの面倒を見ておられました。私も名古屋の小さな教会の主任の仕事をしておりましたので、名古屋地域で一緒に働かせていただきました。あなたは、再度、吉祥寺教会に戻られましたが、私も名古屋での仕事を終え、吉祥寺教会に主任として赴任することになりました。そこには大先輩のあなたがたがおり、若輩の私が大先輩たちとうまくやって行けるか、という懸念の声も聞こえました。が、先輩としての助言と協力で、司祭団としてまとまり、自慢できる司祭団となりました。

振り返ればずっと、あなたは小教区を中心とした活動を学ばせてくださったと思います。私が管区長になり、おろおろしている時、「会員に耳を傾け、奉仕することを忘れないでね」という助言をくれました。私も司祭叙階50年になり、あなたは司祭職を生涯果たすということを先に立って示してくださいました。長いだけでなく、修道者として、司祭として、宣教師として

模範を示してくださいましたゴッちゃんに感謝！です。

多治見修道院にて



前列右端・後藤神父、左端・ウマンス神父
後列左から2番目・森山神父
75春・ヨゼフ会と「神言会と聖霊会」より

新たに始まった物語

渡辺 考

その笑顔に触れると、おすそ分けにあずかったような幸せな気持ちにさせる人がいます。ゴツちゃんは、まさにそんな人。だから、この新型コロナウイルスの外出自粛期間、わたしはとつても寂しかった。その笑顔に簡単に会うことができなかつたのですから。

久しぶりに自粛がとけて、手洗いうがいをしてしっかり消毒してマスクをして、ゴツちゃんに対面しました。

開口一番、「いやあ、コロナ様様です」。どういふことでしょうか？「ミサをあげないですんでいますからね、楽チン、楽チンです」とこちらに茶目つ気たつぷりの眼差しを向けました。「いやあ、いいですなあ」。でもそれは本心ではないことはすぐにわかりました。ちよつと雑談をしたあと、ゴツちゃんはぎつぎつと真逆のことを口にしたのです。「やっぱりミサをしないとね、人に会えなくなるのは寂しいですなあ」とため息をつきました。やっぱりゴツちゃんは人と触れ合つてパワーを与え、人からエネルギー

ーを得ているんだと実感しました。

ゴツちゃんは、この時期に断捨離も断行していました。膨大な写真の数々を自らの手で裁断していたのです。当初、何かとんでもないことが起きているような気がしたのですが、やがてひとつのことに気づきました。ゴツちゃんは、「過去の自分」に決別して「新たな自分」に思いを集中させようとしていたのです。断捨離は「思い出にとらわれないニユーゴツちゃんを自ら誕生させようとする作業でした。そして、ゴツちゃんは、「今後は、遠くの国ではなくて、身近な場所に暮らす社会的に弱い立場に追い込まれている子どもや若者を支援していきたい」、とはつきりと語りました。

わたしは、そんなゴツちゃんに再びカメラを向けることにしました。「ファーザー2」は、果たしてどんな展開をたどっていくでしょう。みなさま、新たなステージに突入したゴツちゃんの物語を楽しみにしていてください。

いつも感謝しています

森 留理

司祭叙階ダイヤモンド祝おめでとうございます

後藤神父様に初めてお目にかかったのは私が小学生の時でした。

お御堂から出たところで大勢の人たちに囲まれて、笑顔で話していらつしやる姿がその頃から今も変わらない印象です。

今年3月からミサがなくなりましたので、私は平日に時々教会へ行きました。

後藤神父様はお庭のベンチに座っていらつしやり、その側にはよく誰かがいらして、私も一緒に仲間に入れていただき、楽しいひと時をすごしました。

神父様、いつも励ましと元気をくださつて、どうもありがとうございます。



曜日	時間	内容	担当者	対象	場所
日	10:30	キリスト教入門講座	風羽講師	初心者、一般	1階・中ホール
火	10:	新型コロナウイルス感染予防のため、しばらくの間 全ての講座はお休みです。			ホール
	10:				ホール
	19:	再開する際は、ホームページ、ルアッハーなどで お知らせいたします。			ホール
水	10:				ホール
	19:30	キリスト教入門講座	フック神父	初心者(受洗2年以内)	2階・小ホール

コロナ対策奮闘記

◆緊急事態宣言下、信徒のいない空っぽの教会に着任した主任、何とかして信徒とつながりたいと約三千人に向けて挨拶の手紙を送ることを思いつき、司祭団総出で発送作業をこなししました。

◆その後、教会からのお知らせをできるだけ大勢に早く確実に届けるため、一斉メールシステムを取り入れることも思いつき、システムを使える方、使えず郵送希望の方のリストを作る準備を経て、400名強のミサ出席希望者を主日5回のミサに割り振る作業が始まりました。1回の定員は80名、パソコンはあっても使えるプログラムはなく、「適当にお願い！」と言ったらやってくれる魔法の杖もありません。一手に引き受けた教会委員の手作業に近いパソコン作業でした。

◆メールや手紙が届かない等、様々な問い合わせを受けた事務室、元締め主任もフル稼働で7月からのミサ再開にこぎつけました。

◆9月の今、高齢者対象や外国語のミサ、日曜学校、スカウト、マリア会などの集まりも少しずつ始まっています。が、誰でも自由にミサにあずかり、集い憩える教会の姿に戻るまで、試行錯誤の作業は続きます。皆様のご協力に感謝しつつ。

◆最後に、一斉メールシステムへの登録がまだの方、是非チャレンジして下さい!!
(広報 T)

■ 売店と事務室の受付時間 (通常) ■

火、水、金、土、日 9:30~16:30

※ 定休日：月、木曜日、祝日

(受付時間は、変わる場合があります)

■ ミサ時間案内 (通常) ■

主日：8:30 / 10:00 / 11:30
17:00

*第1 15:30 (英語)

第3 15:30 (英語又はタガログ語)

土曜：17:00 (主日のミサ)

■教会報 シャローム■ №496

2020年10月18日発行

カトリック吉祥寺教会 教会委員会 広報

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-7-8

TEL 0422-44-0181/Fax 0422-44-0180 URL ▶<http://www.svdtokyo.jp>

教会維持費献金振替口座 郵便振替：口座番号/00120-1-106084

加入者名/カトリック吉祥寺教会

